

困りごと学 ワークショップ 02

困りごと学とは

メンタルヘルス領域のリハビリテーションを異分野と融合しつつ展開させる試みです。
研究者・実践者・当事者の参画を目指しています。



2026年10月3日(土)

12:30受付 13:00～17:00

場所 京都大学 楽友会館

対象 医療保健福祉 関係者など
ご興味のある方はどなたでも

申込 <https://forms.gle/GC37uEZ7xkmrAPBr7>

参加無料／要申込

申込締切：9/30

お申し込みはこちらから



トピック コミュニケーションを巡る研究

このワークショップでは、学術的な知見の共有、課題解決に向けた取組みの促進、ネットワーキングを図ることで、場の構築を目的としています。

話題提供だけではなく、自由に議論できる時間を用意していますので、日々の疑問や困りごともお聞かせください。

話題提供の登壇者

コーディネーター：稲富宏之（京都大学）・星野藍子（名古屋大学）
早川紗耶香（花園大学）・小方智広（京都大学）

顔 私が思い浮かべる
自分の顔は本当の顔？

永井聖剛 | 立命館大学

後 私の後ろにいる人は
どんな表情？

田村秀希 | 豊橋技術科学大学

声 私の思う「自分の声」
はどんな声？

鈴木悠介 | 東京女子大学

リハビリテーション × 異分野の視点で 感じる・分かる・伝わる を問い直します



公益財団法人

トヨタ財団

本ワークショップは公益財団法人トヨタ財団研究助成を受けて実施します。
課題名 「困りごと」で異分野をつなぐ共創プラットフォームの構築：統合失調症患者の感情構築と感情文脈のライブラリ化